

## 文字の形によって記憶力は変わるのか？

国語班：佐藤 若奈 山中 ころこ 小山 那菜 本並 未鈴 森川 奈菜

### 要約

本研究の目的は、使用する文字のフォントや色で記憶力に違いが生じるかを明らかにすることである。実験（調査）によって、フォントは僅差で手書き、色は青が記憶力を高めることがわかった。従って本研究では、フォントでは差は大して生じないが色では生じるということが結論付けられた。

### Abstract

The purpose of this study is revealing that whether font and color of letter which we usually use make a difficult in memory. The experiment shows that handwriting improves our memory by a little margin and the color blue improves our memory. Thus, this study concludes that fonts don't make much difference while color of letters make difference.

## 1. 序論

私たちは字体によって記憶力は変わるのかというテーマにおいて、文字と記憶力の関係性について研究した。学生として生活を送る中で、教科書や参考書、先生から配布されるプリントなど文字と触れることが多い。そしてその文字にはそれぞれ異なる字体が使われている。忙しい学生生活の中でより効率的な暗記法を知りたいと思い、この研究をすることにした。

## 2. 研究手法

色、フォントの2つの視点から、記憶力を高める文字を調べるため、以下の3つの実験を行った。

〈実験1〉フォントの違いによる記憶力の差を調べた。

① 教科書体・ゴシック体・丸ゴシック体・手書きのひらがな・カタカナ・アルファベットをそれぞれ4文字ずつ使って、適当な単語を7個作る。

② 30人の被験者に40秒間で覚えてもらい、40秒間で覚えた分を書き出してもらった。

〈実験2〉色の違いによる短期記憶の差を調べた。

① 黒・赤・青のひらがな・カタカナ・アルファベットをそれぞれ4文字ずつ使って、適当な単語を7個作る。（フォントは手書きで統一）

② 30人の被験者に40秒間で覚えてもらい、40秒間で覚えた分を書き出してもらった。

〈実験3〉色の違いによる長期記憶の差を調べた。

① 架空の生物・国・野菜とそれぞれの特徴を3つずつ考えた。

②それらを黒・赤・青で書き出す。(フォントは手書きで統一)

③30人の被験者に40秒間で覚えてもらい、1分間で覚えた分を書き出してもらった。

### 3. 結果

実験1で使用した4種類の字体の中で最も点数が高かったのは手書きであった。実験2・3で使用した3種類の色の中で最も点数が高かったのは青であった。

### 4. 考察

実験1で手書きが一番点数が高かったのは、手書きの文字が学校生活でノートをとる私たちに最も馴染み深いものであったからだと考えた。最も点数の低かった丸ゴシックは全体的に丸字で遊びっぽいイメージがあるため、暗記するには不向きであると思われる。青が暗記に向いている理由として考えられるのは、青が持っているリラックス効果である。それは集中力を高める効果がある。

### 5. 結論

文字のフォントや色によって、記憶力に差が生じ、記憶力が向上する文字のフォントは手書き、色は青であることが分かった。青ペンを使って手書きで文字を書き、それを利用すると効率よく勉強できると考えた。

### 6. 参考文献

<https://dl.nkmr-lab.org/papers/182/paper.pdf>

<https://townwork.net/magazine/life/27765/>

[https://www.thg.co.jp/douyo/study/blue\\_pen\\_memorize/](https://www.thg.co.jp/douyo/study/blue_pen_memorize/)

<https://pandainu.com/memory-color/>